

研修・交流という名のアンサンブル 〜アンサンブル・国際交流委員会〜

ピティナ理事の江口文子先生を委員長とするアンサンブル・国際交流委員会が、2月15日・16日の二日間にわたり、昭和音楽大学南校舎のスタジオ・プリオおよびユリホールで、研修交流会「アンサンブル・パーク」を企画・開催いたしました。

このイベントが行われた週末、関東は記録的な大雪となりましたが、音楽教育への情熱の炎を心に宿したのべ65名の会員が受講。さまざまな角度からアンサンブルを考える「セミナー・ワークショップ編」と、ステップの現場を見学しながら仲間と学び合い、語り合う「研修・交流編」の二日間

間は、新入会員とステーション代表者が入り混じる交流会でもありました。研修会の形として、ピティナの歴史に新たな一頁を加えたと言えるでしょう。

この委員会では、「アンサンブル」を音楽におけるアンサンブルとしてだけでなく、より広義の概念と捉えました。それは、音楽の本質であると同時に、「交流」や「協同」を可能にする精神を育み、人間としての成長、社会の成熟のための条件を形成するものです。

これからもアンサンブル・国際交流委員会は、音楽教育の地平をさらに遠くに、高くに押し広げるべく、活動を続けていきます。

研修交流会アンサンブル・パーク 2日間のスケジュール

2月15日(土)

- ①第1セミナー：「楽譜編集はアンサンブル空間 ～楽譜はこうして作られる～」
講師：亀田正俊（音楽出版社 出版部）
- ②第2セミナー：「同じ言葉で100通りのシーンが生まれる？」
講師：石野由香里（俳優、演劇ワークショップ主宰）、渡猛（俳優）
- ③第3セミナー：「アンサンブルを楽しもう～参加・実演型ワークショップ～」
田中浩介（チェロ）、桂川千秋（ヴァイオリン）、進行役：江口文子

2月16日(日)

- ④ピティナ説明会 & 「ティーチングカルテ」 ガイダンス
- ⑤ピティナ・ピアノステップを使った実地研修
- ⑥午前中の研修に基づくグループ・ディスカッション

★下記のステーション代表者の皆様に、コーディネーターとしてご協力いただきました。（五十音順 / 敬称略）
 大林裕子（名古屋中ステーション）、菅生晴美（横浜ひまわりステーション）、辻田裕子（大阪つばさステーション）、時藤恭子（そえだステーション）、戸沢睦子（Saitama虹ステーション）、奈良井巴城（トロイカ立川ステーション）、花崎桂子（さぬき高松ステーション）、羽原久美子（福山シャインローズステーション）、林 苑子（目白カンタービレステーション）、福井亜貴子（学園前ステーション）、穂積有紀（我孫子たんぼステーション）、由良佳久（千葉美浜マリンステーション）、和田 仁（龍ヶ崎ときわ路ステーション）

